

川上ダム通信

11
月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

Vol. 134
Since 2005

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>

水の調査隊 川上ダムを探検する！

10月4日(火)、青山小学校4年生63名の「水の調査隊」が川上ダムへやってきました。「水の調査隊」は、伊賀市内の小学生へ「水の大切さ」や「ダムの役割」、「オオサンショウウオの生態」等について理解を深めてもらうことを目的として、川上ダム建設所が毎年開催している学習会です。



講師の話をしんげんに聞き入る隊員

水の調査隊員には、職員による出前講座として学校でダムのはたらき等について学習した後、ダムの建設予定地へ移動して、仮排水路トンネル内を歩いて探検してもらいました。

仮排水路トンネルは、ダムの工事中に川の流れを変えるためのものです。車で通るトンネルとは大きさが異なることや、照明設備が全くない等の違いを見て・歩いて学んでくれたことと思います。真っ暗なトンネルの中、コウモリやサワガニ等の生きものを見つけては歓声があがっていました。

川上ダムが完成する平成34年度には、調査隊員の皆さんは高校1年生になります。完成後のダムを再び訪れて、この学習会のことを思い出してくれたらうれしく思います。当建設所では、地域の子供たちとふれあい、水の大切さや環境などについて楽しく学べる機会を提供してまいります。

【環境課 清水杏子】



トンネル内へいざ突入



天井にコウモリを見つけたよ！

第12回 ふれあいフェスタin青山

10月16日（日）爽やかな秋晴れのもと、「第12回 ふれあいフェスタ in 青山」が伊賀市青山支所周辺で開催されました。

当日は、地元産野菜や木工品の販売、チェーンソーアートや太鼓演奏などが披露され、会場は大いに盛り上がりしました。

当建設所では、川上ダムの目的や役割、工事の進捗状況、環境保全等に関するパネルを展示したブースで川上ダムに因んだクイズを出題するとともに、水質検査を体験する



青山太鼓保存会による太鼓演奏



みんなでクイズに挑戦中！

コーナーを設けて水道水、河川水、レモン水や石灰水の^{ピーエイチ}pH（酸性やアルカリ性の度合い）を測定してもらいました。

ブースには家族連れを中心とした沢山の方々が訪れ、出題したクイズを通じて川上ダムの目的や役割、オオサンショウウオの生態等を楽しく学習していただきました。

私たちも地域の方々と交流することができ、とても貴重な時間となりました。このような機会を提供していただいた主催者の皆様に厚くお礼申し上げます。

【調査設計課 山本晃世】

伊賀市南消防署 川上ダムを視察調査

9月12日（月）と13日（火）に、川上ダム建設予定地において伊賀市南消防署による警防視察調査が実施されました。この視察調査は、緊急時や災害発生時における消防署の初動を円滑に行えるよう実施しているものです。

2日に分かれて吉川署長をはじめ計12名の署員の方々が来所され、西之澤橋付近のダムサイト、ダムサイト右岸からのダム建設予定地、現在施工中の工事現場、完成している猫また大橋や北野トンネルを視察していただきました。



ダムサイト右岸より事業用地を望む



施工中の工事現場を視察

署員の方々は、工事現場への進入路、現在施工中の工事の進捗状況、橋やトンネルの状況等を熱心に確認されていました。

当機構の工事現場の状況も年々変わります。こうした視察調査などを行うことで常に新しい情報を把握して有事に備え、私たちの命を守ってくださっている消防署員の皆様に深く感謝申し上げます。

【総務課 大西誉朗】



農家研修に行ってきました！



水資源機構では、新規採用職員を対象とした農家研修を実施しています。この研修の目的は、農家に滞在して農作業を経験するとともに、機構の水を利用する方々の視点を理解して将来の業務に活かしていくことにあります。

9月12日（月）から23日（金）の2週間にわたり、当機構香川用水の水を利用されている香川県丸亀市にある「竹内農場」へ筆者が農家研修に行ってきましたので、ご報告します。滞在期間中の主な作業内容は「キャベツの栽培」と「肉牛の世話」でした。



キャベツの苗の植え付け



近くで見ると迫力が・・・

この研修を通して感じたことは、農業とは非常に細かな作業の積み重ねであり、普段何気なく食べている野菜にも農家の皆さんの大変な苦勞と手間がかかっているということです。また、滞在中の一週目は真っ黒に日焼けするほどの快晴であったのに、二週目は台風が直撃する荒れ模様になりました。天気を相手にしなければならぬ農業の難しさを、身をもって学びました。



お世話になりました！

この研修で得た経験を今後の業務で活かしていきたいと思えます。お世話になった竹内農場の皆さん、ありがとうございました。

【第二用地課 八重樫知宏】

関西・吉野川支社 淀川管内技術研究発表会

10月17日（月）、当機構関西・吉野川支社淀川本部の管内技術研究発表会が行われました。この発表会は当機構が日常業務の中で実施した調査・設計・施工等に関する研究の報告、又は創意工夫した業務上の提案等を行うことにより職員の技術力の向上・技術の継承を図るとともに、広く発表の場を確保することで職員の自己啓発と研究意欲を喚起するために行われているものです。

当建設所からは、環境課による「オオサンショウウオの保全対策に関する検討」をはじめ第二用地課、工事課、総務課から計4名が日常業務における成果を発表しました。

審査の結果、当建設所からは廣瀬真由（環境課）、八重樫知宏（第二用地課）の2名の発表が優秀賞を受賞し、12月の本社の技術研究発表会に進むこととなりました。

今後も職員一同、技術力の向上とともに皆様への説明能力の向上に努めてまいります。

【総務課 谷村正子】



大勢の聴講者の前で緊張しました



本社発表も頑張ります

一夜限りの宴 上野城薪能



闇夜に浮かび上がる上野城

な物まねを幅広く取り入れた大衆芸能として人気を博しました。その後、観阿弥・世阿弥の時代には貴族たちの恋物語、武将たちの戦記、怪物退治など多彩な物語を舞いや音楽を交え悲劇的に演じ、^{おもて}面（仮面のこと）を使用する能と、親しみやすい一般庶民を主人公に滑稽な話を独特のしぐさや語りで演じる狂言とに、はっきりと分かれるようになったといわれます。

闇夜にかがり火の灯りに照らされた上野城、美しい所作の舞手に舞台衣装、雅楽の音色と相まって、別世界に迷い込んでしまったような雰囲気でした。スポーツの秋、食欲の秋に加えて芸術の秋を過ごしてみたいはいかがでしょうか。

【環境課 清水杏子】



幻想的な一夜でした

イベントのお知らせ

滝山溪谷紅葉まつり

開催日：11月3日（木）
開催場所：白藤滝周辺
お問い合わせ：伊賀市伊賀支所振興課
0595-45-9119

大村神社例祭

開催日：11月2日（水）～11月3日（木）
開催場所：大村神社（伊賀市阿保1555）
お問い合わせ：大村神社
0595-52-1050

桐ヶ丘フェスタ2016

開催日：11月12日（土）
開催場所：桐ヶ丘3丁目駐車場周辺アミティー
お問い合わせ：桐ヶ丘フェスタ実行委員会
0595-52-0204

伊賀上野シティマラソン

開催日：11月27日（日）
開催場所：伊賀市役所前より、市内（コース）
お問い合わせ：伊賀上野シティマラソン
実行委員会事務局
0595-22-9635
※マラソン参加受付は終了しています

本誌に対するご意見と掲載記事を募集します！

当建設所では、読者の皆様により一層楽しみながら川上ダム通信をお読み頂けるよう、本誌に対するご意見や掲載記事を募集しています。詳細については、下記までお問い合わせくださいようお願いいたします。

【問い合わせ先】

総務課 TEL 0595-52-1661 Mail somu1@lily.ocn.ne.jp

※掲載記事については、広告など営利目的のものはお受けいたしかねますのでご了承ください。

編集後記

日没の時間がだんだんと早くなり、秋になったと思ったらもう冬の足音が聞こえてきそうです。11月に入ればそろそろ本格的な冬支度、衣替えに暖房器具を用意なくては。ストーブ、ファンヒーターなどありますが、やっぱりこたつが一番！です。

【広報誌発行事務局】

編集長	加納（所長）	
デスク	大西（総務課長）	小谷口（工務課長）
記者	谷村（総務課）	富士澤（第一用地課）
	八重樫（第二用地課）	山本（調査設計課）
	清水（環境課）	小野（工務課）